

早期にアドバイザー公募

IR事業者選定は夏以降

和歌山県

域認定申請する。

基本構想によると、誘致先は和歌山マリーナシティ（和歌山市毛見）の約20・5畝。施設の延べ床面積は45万7183平方呎。カジノを備えた客室数2500室のハイグレードラグジュアリーホテルを中心に、延べ5万平方呎規模のMICE（国際的な会議・展示場など）を誘致する。建

設投資額は2799億円、来場者数は年間400万人、経済波及効果は同3000億円に上ると試算している。基本構想策定業務は、トーマツが担当した。

IR開発への参画を検討している事業者向けに、県が18年に実施した投資意向調査（RFI）には、海外企業7社を含む33社が参加している。

和歌山県は、2024年度内開業を目指している和歌山市内へのIR（統合型リゾート）誘致について、19年度に事業者選定に着手する。選定に先立ちアドバイザーを公募型プロポーザル方式で募集、18年度内に選定手続きに入りたい考え。19年度予算案に、アドバイザー委託費など事業費2億3100万円を計上している。

アドバイザー（アドバイザー業務）は誘致実現に向け金融・財務・法務の専門的観

点から助言する。具体的には▽事業者募集▽事業者に対するデューデリジェンス（信用調査）▽事業計画書の内容分析▽契約交渉支援――など。「できるだけ早期に業務着手したい」（同県企画部）として18年度内に事業者募集に着手する方針だ。

アドバイザー業務のほか、交通体系や渋滞対策などIRへのアクセス性を調査する業務を別途発注する。

今夏にも公表される国の基本方針公表後、県は実施方針

